

ICDAホールディングス

企業分析の授業に協力

愛知淑徳大学でバーチャル工場見学



【三重】ホンダ販売店など傘下に置くICDAホールディングス（本社鈴鹿市）の授業で、会社説明

分析について学んだ後、東海地区の上場企業を対象に決算短信などをもとに実際に分析する。全15回で、今回が7回目。

授業では、同社の服部宝管理部長が講師を務めた。グループで新車・中古車販

と自動車リサイクル拠点のバーチャル工場見学を実施した。

授業は、同大

ビジネス学部現

代ビジネス専攻

ビジネスアカウ

ンティングコー

ス3年生の必須

科目「企業分析

プロジェクト」。

19人が受講して

いる。安全性や

収益性など経営

会社説明をする服部部長

間決算の概要のほか、市場環境、今後の自社の出店戦略などを紹介した。

続いて、使用済み車両のリサイクルを手掛ける傘下のマーク・コーポレーション（本社鈴鹿市）のリサイ

の前でプレゼンテーションを行う。

クル拠点「鈴鹿オートリサイクルセンター」とオンラインで結び、事業の特徴や各工程を紹介した。

今後、学生は5グループに分かれ、テーマを決めて分析し、最後は同社関係者

の授業を担当する三浦克人教授は「企業関係者にプレゼンを行うことで、学生の自信につながれば」と話し

2023年3月期中